

信頼できるデータ センターとストレージ インフラストラクチャ



DELL Technologies

intel®



信頼できる データセンター ストレージイン フラストラクチャ

中堅企業が直面するデータセンター ストレージ インフラストラクチャの多くの課題は大企業と同様ですが、中堅企業にはそれらに対処するためのリソースが不足しています。容量、ダウンタイム、データ盗難、法令遵守違反のどれもが、競争が激化する中で継続的なイノベーションを推進している企業の足かせとなっています。企業は常に、貴重なデータやIT資産の利用可能性、耐久性、拡張性を確保し、保護する必要があります。中堅企業がこのように厳しい市場力学に立ち向かい、成功を収めるにはどうしたらよいのでしょうか。

最も成功している企業は、ストレージ インフラストラクチャを含む、信頼できるデータセンター インフラストラクチャを優先するという明確な組織的取り組みを実施しています。図1は、信頼できるデータセンター テクノロジー、運用成果の向上、および究極的なビジネスの成功の関係性を示しています。

信頼できるデータセンターのベストプラクティス、テクノロジー、およびビジネス上の成果の関係性

データセンターのセキュリティと信頼できるベストプラクティスは、次の観点から測定できます。



より頻繁なインフラストラクチャの更新



インフラストラクチャのテクノロジー確保に対する組織的な取り組み



インフラストラクチャのセキュリティテクノロジー導入の成功事例

データセンターのセキュリティと信頼性により、次のようなテクノロジーの成果を実現できます。



アウテージの低減



サービスとデータリカバリーの高速化



データロスとセキュリティインシデントの低減



コンプライアンス要件に適合する優れた能力

最終的には、テクノロジーおよびセキュリティのパフォーマンスによって、次のようなビジネス上の優れた成果を収めることができます。



市場投入までの期間短縮



顧客満足度の向上



市場占有率の拡大



高い収益成長率

出典：Enterprise Strategy Group



信頼できるデータ センター運用の 3本の柱は次のとおりです。



1. データセンター インフラストラクチャの定期的な更新と廃棄



2. 信頼できるテクノロジーの導入の取り組み



3. これらのテクノロジーの実装

信頼できるデータ センター ストレージのテクノロジーには、暗号化、組み込みファームウェア セキュリティ機能などの最新のデータ セキュリティ機能、高頻度のバックアップやレプリケーションなどのデータ保護対策が含まれます。

データを脅かすリスクの軽減

中堅企業は、ストレージ インフラストラクチャを含む、IT環境のセキュリティと信頼性の向上を優先する必要があります。セキュリティ侵害やデータ ロスなどのストレージの中断によるビジネス インパクトを最小限に抑えることで、中堅企業は市場での競争力を高め、成功を収めることができます。

ストレージ サービスはビジネス運営に不可欠であり、こうしたサービス中断は弊害をもたらす可能性があります。

- サイバーセキュリティリスクが、競合他社と比べて組織に損害を与える可能性がある
- アウテージはカスタマー サービスを混乱させる可能性がある
- データ ロスは生産性を低下させ、コンプライアンス違反は財務面で直接的な影響を及ぼす可能性がある

セキュリティ戦略の一環として、インフラストラクチャの更新や廃棄の計画を立てる必要があります。新しいインフラストラクチャには、従来のソリューションにはないセキュリティ機能とデータ保護機能が多く含まれている場合があります。そのため、インフラストラクチャの刷新に多くの投資を行っている企業は、より良い成果を生み出すという点で有利になります。

インフラストラクチャの刷新に多くの投資を行っている企業は、より良い成果を生み出すという点で有利になります。

最も成功している企業は、インフラストラクチャの刷新に加えて、以下のようなストレージ インフラストラクチャのベストプラクティスにも取り組んでいます。

- 機密データを暗号化し、盗難や破損を防ぐ
- 市場をリードするセキュリティ機能をファームウェアに組み込み、インフラストラクチャ ソリューションに投資する
- 機密データをセカンダリー ストレージ システムにレプリケートして、アップタイムと復旧可能性を最大化する

成功している企業は、信頼性とレジリエンスが高く、データ侵害されにくい環境を構築しています。その結果、データロスやデータ侵害を生むセキュリティインシデン

トが減り、社内ガバナンスや規制要件の遵守不履行が減り、アウテージが減ってアウテージからの復旧時間が短縮しています。そして高い技術力によって競合他社に打ち勝ち、顧客満足度を向上させ、市場占有率と収益の両方を拡大しています。

ITとビジネスのリスクを防ぐもう1つの要素として、成功している企業が重視しているのがコンプライアンスへの取り組みです。社内、社外を問わず、コンプライアンス要件を厳しくしています。リソースが限られた中堅企業にとって、コンプライアンスを効率的に確保することが極めて重要です。とりわけ中堅企業の多くは法令遵守違反に関連した罰金に対応する能力が乏しいため、採用する対策を効率的なものにする必要があります。

ストレージ インフラストラクチャ の可用性を確保する

ストレージのアウトージは、さまざまな原因で発生します。自然災害によって対象地域がオフラインになることや、人為ミスによってサービスのアウトージが発生すること、あるいはサーバー、ストレージ、ネットワーキング コンポーネントなどのシステムが機能停止することがあります。新たなインフラストラクチャを運用し、優れたセキュリティと信頼性の高いテクノロジー ソリューションへの投資を強化しているIT部門は、優れた成果を得ています。

サービスの継続的な運用と、新たなビジネス サービスの継続的な開発と提供において、ストレージ インフラストラクチャの可用性が不可欠です。ストレージのアウトージは、サービスに依存しているお客様やその他のユーザーに即座に明確な悪影響を及ぼします。開発チームへの影響は、あまり明白なものではありません。ソフトウェア開発の手法は、モノリス型のウォーターフォール手法から、俊敏で継続的な開発およびデリバリー モデルへと大きく移行しています。ストレージ サービスが失われると、開発作業が中断し、開発の成果が失われるリスクが生じるだけでなく、リカバリーに多大な時間が必要になることがあります。



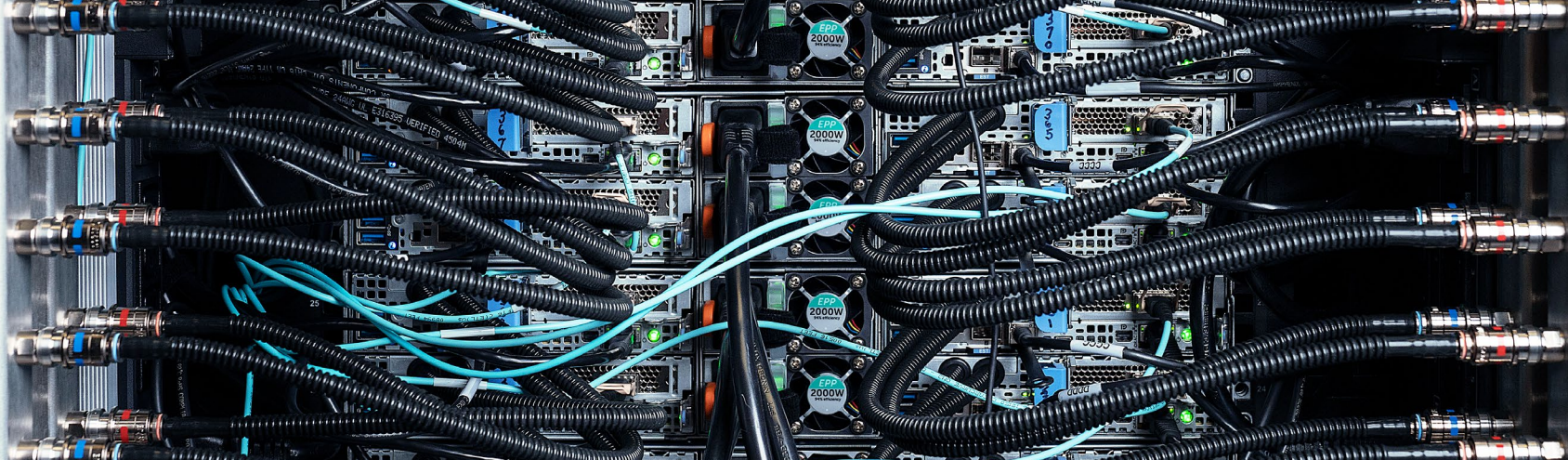
企業は、お客様のデータを常に保護する必要があります。



信頼できるデータセンターストレージでビジネスの俊敏性を向上させる

ストレージサービスを含む信頼性の高いデータセンターテクノロジーを重視する企業は、イノベーションを起こし、新製品を提供し、お客様の期待に応えるうえで有利な立場にいます。消費者や企業が常に利用できるデジタルサービスを活用している現在、これらの企業への期待はより大きなものになっています。ビジネスサービスへの常時アクセスに対する需要の高まりにより、可用性と拡張性の両方を備えたアプリケーションを提供する必要性が高まっています。このようなアプリケーションを運用できる企業は、競争力を高めて成長するうえで有利な立場にいます。

高可用性と拡張性だけでは、今日のデジタルサービスのニーズを満たすことができません。企業は、お客様のデータを常に保護する必要があります。データ侵害は頻繁に発生するため、消費者はデータ漏洩を想定するようになってきていますが、攻撃により財務や風評のコストが生じます。中堅企業は、信頼できるデータセンターストレージインフラストラクチャを活用することで、データ漏えい、ランサムウェア、その他の破壊的なサイバーセキュリティの脅威のリスクを軽減することができます。



企業は、ここに記載されたベストプラクティスへの遵守を改善するため、以下を行う必要があります。



サーバーおよびストレージ インフラストラクチャを頻繁に刷新し、より高度なセキュリティとデータ保護機能を備えたソリューションを使用する



高度な内蔵セキュリティ機能を備えたサーバー ソリューションを優先する一般的に、新しいサーバーは従来のサーバーよりもセキュリティに優れ、次のような点を明確に重視したセキュリティ機能を備えています。

- すべてのシステム アップデートが暗号認証されていることを確認する機能
- 構成設定の自動ロックダウン
- 完全なシステム消去を実行する機能



ベストプラクティスを効果的に実施するうえで必要な資金やスタッフのリソースを投入し、これらのベストプラクティスを確実に実施する



システムへの悪影響の可能性を考慮する必要がなく、セキュリティの脅威を無視できる組織は存在しません。この信頼できるデータセンター ストレージ インフラストラクチャ モデルのベスト プラクティスは、エンタープライズ規模の企業がストレージ、セキュリティ、コンプライアンス、運用の要件を効果的に満たすために使用しているものと、同様のベスト プラクティスになります。

[信頼できるデータセンターの成熟度を高めるうえで、デル・テクノロジーがどのようにお役に立てるかについての詳細をご確認ください。](#)

DELLTechnologies

intel®